

高齢者の在日外国人に福祉給付金2
PCB含有照明器具点検の結果について	3
消費者特集・消費生活展4・5
平成17年度市立・私立幼稚園児募集	...8
東京都シルバーバスのご案内9
高齢者のインフルエンザ予防接種10
未公開資料も展示、三木露風展11
中近東文化センター「ペルシアの陶器展」11

10月は都市緑化月間

公園に 道路に

自然とふれあう楽しさ広がる 緑のボランティアしてみませんか

緑化支援事業の花苗が育つ瞬間



10月は「都市緑化月間」。この機会に都市生活の中での緑について考えてみませんか。三鷹市内では、今、多くの方々が街の緑を守り育てるために活躍しています。

緑のボランティア講座

街の緑を守り育てることに関心のある方を対象に、市内の公園での実習を交えた講座を開催します。

講師は東京農業大学助教授の濱野周泰さん。緑に関する基礎知識、雑木林や竹林の管理と育成などについての講義と、公園や緑地での実習作業。農業公園、丸池公園、大沢の里などで、植え付け、病虫害対策、樹木の剪定、雑木林の下草刈り、ツタ類の除去、樹名板の作成と取り付け、竹の伐採と枝払い、竹細工などを行います。

全日程、実習作業に参加できることが条件。

▷10月9日g・23日g、11月6日g・27日g、12月4日g・23日g 午前10時～午後3時30分、農業公園、丸池公園、大沢ふるさとセンターほかで(午前は講義、午後は実習・作業)

▶10月6日dまでに緑と公園課☎内線2833へ申し込む。定員20人(申込多数の場合は抽選)

都市緑化月間の催し 花と野鳥の写真展

10月4日b～8日f 午前8時30分～午後5時
市役所1階市民ホール ご自由にご覧ください。

「公園ボランティア制度」が三鷹市で誕生したのは3年前のこと。現在では、22のグループが公園ボランティアとして登録しています。市内28カ所の公園や緑地が、延べ320人の市民の手で清掃され、みなさんの「地域の庭」として大切に保たれていきます。

緑や自然と接する場が少ない暮らしの中で、「早起きして草取りや落ち葉掃きをする」と、気持ちが晴れ晴れする」という方が多く、「近所のコミュニケーションの場にもなっているようです。」

この制度は、継続的に清掃作業をしてくださる5人以上のグループを公園ボランティアに認定し、ほうき、ちりとり、重手、



「むらさき公園里親の会」のみなさん

かまを支給するなど活動を支援するというものです。活動日などは各団体がそれぞれ決めています。

公園には、グループ名を表示した看板が設置されます。また、登録者には市民活動災害補償保険が適用されます。

現在では、こうした公園ボランティアに参加しているみなさんや、街の緑や自然に関心のある方々から、「清掃だけではなく公園で花壇づくりや樹木の剪定などもしたい」という声が増えるようになってい

そのため、市では、今年度から新たに「緑のボランティア講座」を開催します。緑の基礎知識から雑木林の維持管理までを総合的に学んで、将来的には地域の公園を維持管理する緑のコーディネーターとして活躍していただければと考えています。

▽「公園ボランティア」の登録については緑と公園課☎内線2835へお問い合わせください。



集団回収の補助金で購入した花苗を植える

助成・支援制度をご利用ください

雨水浸透ます設置事業

地下水位の低下を防ぎ、湧き水の復活を図るため、雨水浸透ますの設置事業を進めています。

対象は、築1年以上の個人住宅、個人所有賃貸アパートなどです。費用は公費で負担し、個人負担はありません。

工事は通常1日程度で済みます。設置後の管理は申請者でお願いします。

雨水小型貯留槽設置助成制度

市では雨水を資源と考有効利用を推進しています。

雨水小型貯留槽を設置した方に費用の一部を助成しています。

事前にご相談ください。製品のカタログなども用意してあります。

生垣の助成

都市の緑化と防災という

両面から、道路に面した場所を生垣に変える場合、費用の一部を助成しています。事前にご相談ください。

市民緑化支援事業

一定の条件で道路に面する玄関先や庭に花を植えて育てる5人以上のグループを対象として、3年間にわたり苗や管理用品などの緑化用品を支給します。

くわしい条件などをご確認ください。

第8回市長と語り合う会参加者募集

テーマ「SOHOの夢と可能性」

対象は、市内在住・在勤の20～40歳のSOHOワーカーの方。

10月26日(午後7時～9時) 市役所3階第3委員会室で。

10月15日までに、はがきまたはEメールで、「市長と語り合う会参加希望」・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・勤務先・語り合いたい内容を記入し、〒181-8555 三鷹市役所秘書広報課秘書係・E-mail: isho@city.mitaka.tokyo.jpへ申し込む。定員10人(申込多数の場合は抽選)。

▽秘書広報課秘書係☎内線2010

夢と感動をありがとう!

7月15日、アテネオリンピック、パラリンピックに参加が決まった三鷹市ゆかりの役員、選手の方々の激励会を市役所1階ロビーで開催しました。さっそくとしたその姿とメダル獲得への決意から、私たちは大きな夢の実現に向かう元気をいただきました。

その後、市民の皆さんの応援のかけがえのない、柔道男子66kg級の内柴正人選手が、柔道男子100kg級超級の鈴木桂治選手が、そして体操男子団体で塚原直也選手が金メダルを獲得しました。

三鷹市在住あるいは三鷹市で練習を積まれてきた選手の方々のこれまでの想像を超える厳しい練習の努力が、「金メダル獲得」という実を結びました。それは、遠く離れたアテネと三鷹を結び、大きな感動を私たちにもたらしてくれました。

惜しくもメダルを獲得されなかった選手の方々も、その正々堂々とした演技やプレーで、審判員の方々の皆さんも公平さを尊重した活躍で感動を与えてくれました。

塚原選手は、お父さんの体操総監督・塚原光男さんも金メダリストですので、日本で初めての「親子で金メダル」となります。

私は三鷹市ゆかりの役員、選手、審判員の方々が私たちにくださった夢と感動に対して、市民の方々の皆さんの思いを代表して、「感謝状」を贈呈しました。

夢を抱いて全身全霊をかけて立ち向かう人たちの栄光と挫折のドラマは、私たちに生きる力と勇気を与えてくれます。役員、選手、審判員の方々の皆さん、応援してください。すべての市民の皆さんに心から感謝します。

市長コラム



三鷹市長 清原慶子